

<報道発表資料>

平成23年7月15日

農林施策

放射性物質の農産物への影響調査について（第29報）

埼玉県は、国の協力を得て、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の農産物への影響調査を実施しました。二番茶の荒茶及び飲用茶については7月13～14日に8検体、麦については6月29日～7月7日に産地の集荷施設等から9検体を採取し分析を行ったところ、下記のとおり、全ての検体で暫定規制値を下回っていました。

埼玉県では、放射性物質の農産物への影響を引き続き調査してまいります。

1 調査地域

(1) 荒茶・飲用茶

入間市、所沢市、狭山市

(2) 麦

さいたま市、川越市、熊谷市、行田市、秩父市、飯能市、狭山市、鴻巣市、深谷市、桶川市、富士見市、坂戸市、日高市、越生町、横瀬町、長瀨町

2 調査対象

荒茶	4検体
飲用茶	4検体
小麦	5検体
はだか麦	2検体
二条大麦（ビール大麦）	1検体
六条大麦（小粒大麦）	1検体
合計	17検体

3 採取日

平成23年7月14日（荒茶）

平成23年7月13日（飲用茶）

平成23年6月29日～7月7日（麦）

4 結果判明日 平成23年7月15日

5 調査結果

(1) 茶

分析機関：国立保健医療科学院

品目	市町村名	放射性物質の濃度 (Bq/kg)			
		放射性ヨウ素	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 計
荒茶 (二番茶)	入間市	検出せず	41.4	45.3	86.7
		検出せず	27.6	31.1	58.7
	所沢市	検出せず	45.8	52.8	98.6
	狭山市	検出せず	49.5	55.9	105.4
暫定規制値	その他	暫定規制値なし	—		500

※「検出せず」とは、検査機器で測定できる検出下限値未満であることを示す。

検出下限値：放射性ヨウ素 0.7~1.4Bq/kg、放射性セシウム 0.7~1.8Bq/kg

分析機関：県衛生研究所

品目	市町村名	放射性物質の濃度 (Bq/kg)			
		放射性ヨウ素	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 計
飲用茶 (二番茶)	入間市	検出せず	検出せず	検出せず	—
		検出せず	検出せず	検出せず	—
	所沢市	検出せず	1.2	1.2	2.4
	狭山市	検出せず	1.7	1.5	3.2

(参考) 飲料水の暫定規制値：放射性ヨウ素 300Bq/kg

放射性セシウム 200Bq/kg

※「検出せず」とは、検査機器で測定できる検出下限値未満であることを示す。

検出下限値：放射性ヨウ素 0.46~0.55Bq/kg、放射性セシウム 0.58~0.75Bq/kg

(2) 表

分析機関：財団法人 日本食品分析センター多摩研究所

麦種	市町村名	放射性物質の濃度 (Bq/kg)			
		放射性ヨウ素	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 計
小麦	さいたま市	検出せず	2.5	2.6	5.1
	川越市他※	検出せず	7.7	5.3	13
	秩父市・長瀨・横瀬	検出せず	検出せず	検出せず	—
	深谷市	検出せず	7.4	9.2	16.6
	桶川市	検出せず	1.7	1.5	3.2
はだか麦	川越市	検出せず	検出せず	3.4	3.4
	熊谷市	検出せず	6.5	8.1	14.6
二条大麦 (ビール大麦)	行田市	検出せず	2.0	2.1	4.1
六条大麦 (小粒大麦)	鴻巣市	検出せず	9.6	1.1	20.6
暫定規制値	穀類	暫定規制値なし	—		500

※「川越市他」とは、川越市、飯能市、狭山市、富士見市、坂戸市、日高市、越生町を示す。

※「検出せず」とは、検査機器で測定できる定量下限値未満であることを示す。

定量下限値：放射性ヨウ素 20Bq/kg、放射性セシウム 2.2~3.6Bq/kg

※検体は農協等集荷業者ごとに採取した。(市町村名欄には調査検体が生産された市町村名を記載)

(茶については)

農林部 生産振興課

花き・果樹・特産担当 山田・吉田

直通 048-830-4146

内線 4146

E-mail: a4130@pref.saitama.lg.jp

(麦については)

農林部 生産振興課

主穀担当 片貝

直通 048-830-4145

内線 4145

E-mail: a4130@pref.saitama.lg.jp